

VA-ECMO 離脱耐容に対する逆流試験および二段階離脱試験の有用性に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展と医療の質の向上を目的として、患者さんの診療情報等を用いた臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問、または診療情報の利用停止等をご希望される場合には、下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。

研究の目的と方法

重い心不全や心筋梗塞、心停止などにより心臓の働きが大きく低下した場合、体外式膜型人工肺（VA-ECMO）という装置を使用して血液の流れを補助することがあります。この装置は、心臓の働きが回復するまでの間、全身の臓器を守るために重要な役割を果たします。

一方で、VA-ECMO は長く使い続けることで出血や感染などの合併症が起こる可能性もあるため、できる限り適切なタイミングで取り外すことが重要です。しかし、心臓の回復が十分かどうかの判断は難しく、装置を外した後に血圧が低下したり、再び循環が不安定になることがあります。その場合には再度装置を装着する必要がありますが、体への負担が大きく、対応に時間がかかることもあります。

そこで本研究では、VA-ECMO を外す前に心臓がどの程度回復しているかをより正確に評価するための方法について検討します。具体的には、従来行われている方法に加えて、以下のような段階的な確認方法を用います。

まず、装置の回転を調整し、体内の血液の流れに近い状態を一時的に作り出すことで、心臓の働きを評価する方法（逆流試験）を行います。そのうえで、問題がなければ、血管に入っている管を残したまま一度装置だけを外し、一定時間、実際に装置がない状態で循環が安定しているかを観察します。その後も問題がなければ、最終的に管を抜去します。

このように段階的に確認を行うことで、心臓がしっかりと回復しているかどうかをより現実に近い形で評価できると考えられます。さらに、装置を外した後に状態が悪くなる可能性をこれまでより正確に予測できるようになり、安全な離脱につながる可能性があると考えています。

本研究は、通常の診療の中で得られた情報をもとに行う観察研究であり、研究のために新たな検査や治療が追加されることはありません。また、本研究への参加の有無によって、患者さんの治療内容が変更されることはありません。

研究の対象となる方

2026 年 2 月以降に、済生会熊本病院において VA-ECMO による治療を受け、VA-ECMO の離脱が検討された患者さんが本研究の対象となります。

使用する試料・情報

本研究では、通常の診療記録に含まれる情報の中から、年齢や性別、基礎疾患、治療の経過、血圧や心拍数、心臓の働きを示す各種検査結果、血液検査の結果、VA-ECMO の使用状況、集中治療室での治療経過、ならびに生存状況などの情報を使用します。これらの情報は、いずれも診療の過程で取得されたものです。

使用開始予定日：2026 年 7 月 29 日

研究予定期間

2026 年 7 月 29 日～2028 年 3 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕循環器内科 鶴木崇

〔当院の個人情報管理責任者〕院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 循環器科 鶴木崇

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)